

小学校 生活 小・中学校 総合的な学習の時間

I ICT活用のポイント

生活

- 低学年の特性や生活科の特質を理解して、児童の思いや願いのもとに写真やビデオを撮影したりワークシートに記入したりするなど、振り返りや表現に活用する。繰り返し見ることができる、記録できるなど、ICTのよさを生かし、学習過程のどの場面で活用すると効果的なのか考え、計画的に活用する。

総合

- 「個の学び」での活用で、深い学びが実現する。探究的な学習を繰り返す中で、一人一人が収集した多様で多量なデジタルデータ等を端末に長期にわたって集積する。収集した情報を検索や分析など再構成し、時間軸や空間軸に沿って俯瞰することが可能となる。
- 「集団の学び」での活用で、深い学びが期待できる。課題の解決に向けて個々が収集したデジタルデータ等を利用し、集団内で共有することで、質的・量的にも豊かな情報を蓄積することにつながる。

生活科では、**具体的な活動や体験を通した学び**の中で、資質・能力の育成を行っていくために、ICTを効果的に活用しましょう。総合では、「**個の学び**」と「**集団の学び**」が**相互に影響**し、新たな知を生成できることを体験することを通して、**協働的に**問題解決するため、適切な場面でICTを活用していきましょう。

2 実際の活用例

生活

- ・写真や動画の撮影、画像の検索等、低学年でもできる活用を行う。（作品の共有や繰り返しの視聴が可能。）
- ・**児童の思いや願いのもとに撮影**し蓄積した画像等に文字や図を書き込む。**児童の振り返り**の材料となる。



総合

- ・多様で多量な情報、最新で加工しやすい情報を**いつでも、どこでも**、手軽に調査し収集できる。
- ・校内のみならず、国内外への発信が可能である。手軽な作成と加工が**繰り返し**でき、成果物の**継続的な蓄積**ができる。



生活→○学習過程のどの場面で活用すると効果的なのか考え、計画的に活用する。
総合→○探究のプロセスに沿って活用する。
共通→○**発達の段階や経験に応じて**適切に活用する。

3 実践事例の紹介

【小学校・2年・生活・「小さな友だち」】

育成を目指す資質・能力

B 2（調査活動）

C 2（協働での意見整理）

継続的に生き物を飼育する活動を通して、生き物の生態、変化や成長の様子について関心をもって働きかける。内容（7）

ICT活用のポイント 【活用したソフトや機能】 学習支援ソフト カメラ機能 ウェブブラウザ

生き物を見付けたり、活動を振り返ったりする際に、1人1台端末を活用して見付けた生き物を振り返ることで、興味や関心をもったり大切にしようとしたりする気持ちをもつことにつながる。また、1人1台端末の活用により児童が共有しやすく、活動の広がりをもたせることに有効である。

学習の流れ

身近な生き物について話し合う。

校庭で生き物を探す。生き物マップを作成する。

飼育方法を調べる。生き物の世話をする。記録をとる。

活動を振り返る。

事例の概要

本事例は、1人1台端末を活用して、児童が生き物との関わりについて自分で振り返ったり友達と共有したりすることを通して、身近な生き物に親しみをもつことができるようにした実践である。

児童が身近な生き物を校庭で探す際に、1人1台端末のカメラ機能で撮影して記録し、それを学習支援ソフトに保存した。探した生き物を記録した静止画をもとに、どのような生き物がどのようなところにいるのか、生き物マップを作成した。

生き物の世話をする際には、児童が思ったことや感じたこと、調べたり世話をしたりしてわかったことなどをカメラ機能で記録し、保存して、児童自身が振り返ったり生き物との関わりについて考えたりするようにした。

自分の活動を振り返る際にも活用ができるようにした。

【中学校・2年・総合的な学習の時間・「地域貢献プロジェクトSDGsを通して」】

育成を目指す資質・能力

C 3（協働制作）

町づくりと自分との関りを通して、進んで実社会・実生活の問題解決に取り組み、積極的に地域貢献に参加しようとする。

ICT活用のポイント 【活用したソフトや機能】 プレゼンテーションソフト 学習支援ソフト

1人1台端末を利用し、必要な情報を各自が収集する。その情報を学習支援ソフトを使用することで、他者との情報共有を図り、他者の考えに触れる場面を設定する。大型ディスプレイを活用し、整理方法の一斉指導にも使える。

学習の流れ

SDGsと自分とのつながり ～自分の「好き」と企業のつながりを探る～

地域の課題とSDGsとの関わり
～地域の課題から見たSDGs～

地域の課題解決に向けて ～企業訪問・資料作成～

地域貢献について ～課題解決へ向けてのプレゼンテーション～

事例の概要

【場面① SDGsと自分とのつながり：情報の整理】

SDGsの17の目標と、私の好きなこと（SDGs×機械作り、SDGs×音楽、SDGs×TV、SDGs×農業 等）とのつながりについて調べた情報を1人1台端末のプレゼンテーションソフトを利用し、まとめた。学習支援ソフトに資料を保存することで、他者の成果物や情報を取得することもできる。

【場面② SDGsと自分とのつながり：情報の共有】

学習支援ソフトを利用し、生徒の学習内容を把握した。プレゼンテーション作りの過程において、情報の整理方法を共有するため、上手に整理している生徒の成果物を大型ディスプレイで示し、全体の指導に利用できる。

Webサイトには、上記の実践以外に、次の事例も掲載しています。

- 生活・小学校1年・・・カメラとホワイトボード機能で記録し、表現に活用する実践
- 総合・小学校3年・・・ソフトを活用した資料のまとめをする実践
- 総合・小学校6年・・・ホワイトボード機能を活用した協働での意見整理をする実践
- 総合・中学校1年・・・ホワイトボード機能を利用した資料の協働制作をする実践

